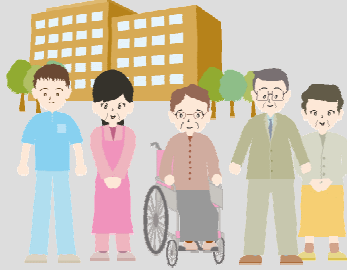


事故対策ワーキンググループの取り組み

事故・ヒヤリハットの「統計データ化」

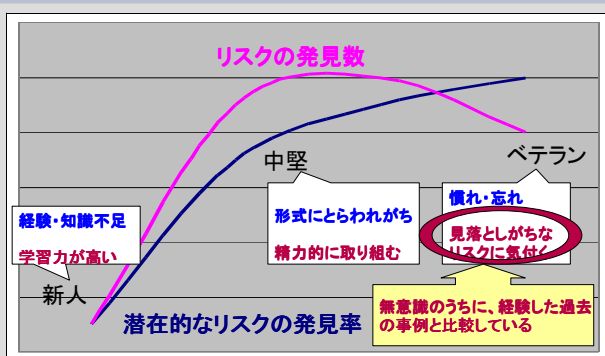


特別養護老人ホーム
第2開寿園
星野 慎二
戸塚 靖人

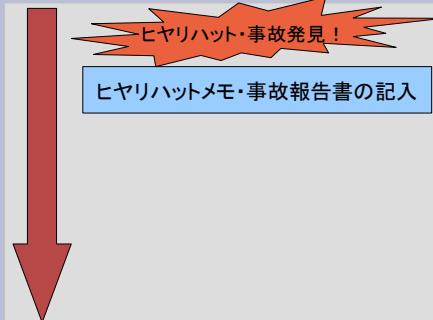
事故対策WGが目指すもの

- 「介護事故をゼロにする」
→時間・人員・勤務体制など、様々な制約の中で、リスクをゼロにすることは不可能
- ★ 防げる事故は、原因を考えて、対策をたてる
- ★ 防ぐことが難しい事故は、損害を可能な限り抑える
- 「職員個人の責任を追及する」
→発生した事故には、組織としての課題が必ずある
- ★ 情報を共有化して、組織として解決方法を考える

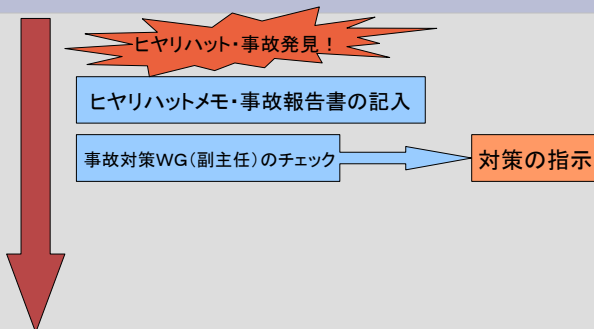
統計データ化の必要性



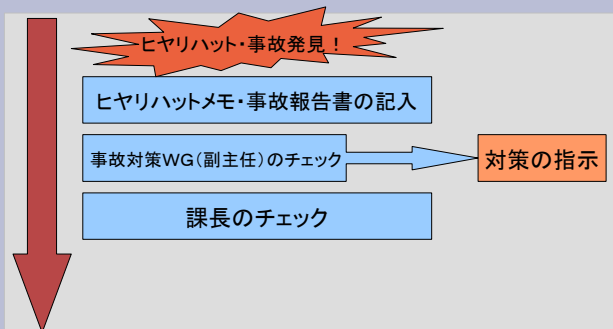
事故対策の取り組み

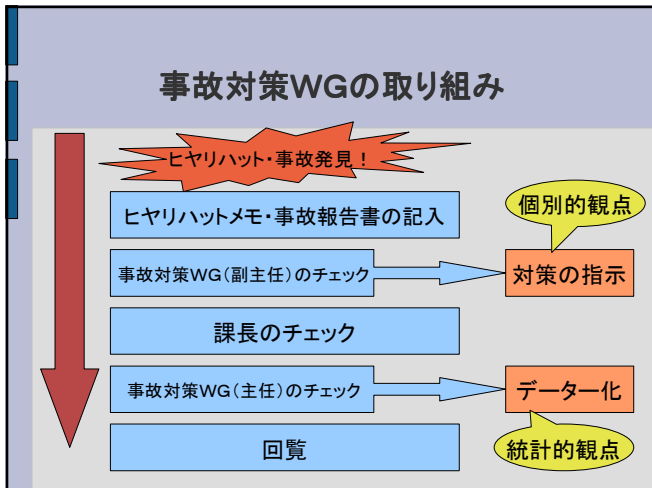
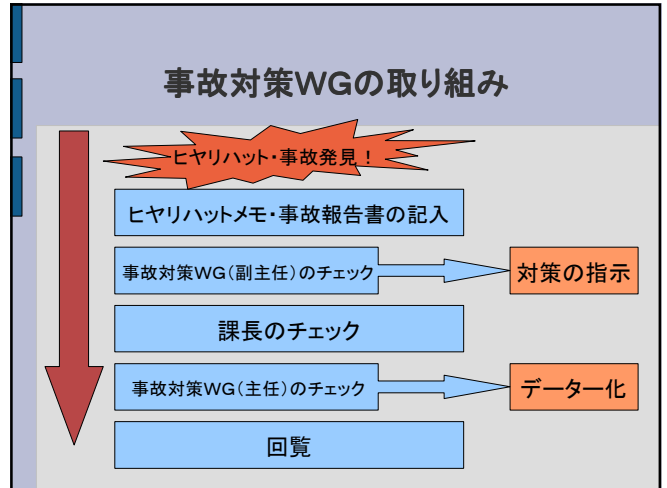
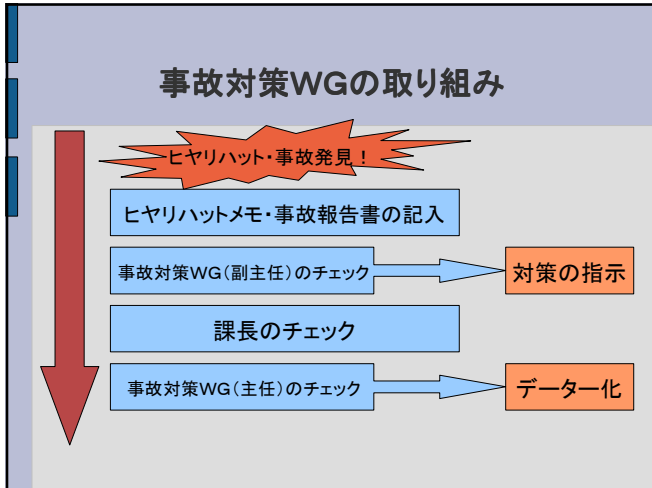


事故対策WGの取り組み



事故対策WGの取り組み





データー入力

事故入力シート

管理フロア 3F

事故区分 国内対応事故

発生日

利用区分 長期3F 五十音 あ行 利用者名

発生・発見場所 居室内

事故内容 食事関係 与薬トラブル

受傷部位

当事者

発生・発見状況

発生要因

事故発生リスク

予見・結果回避可能性

登録 クリア

データー入力

ヒヤリハット入力シート

管理フロア 2F

発生日

利用区分 長期2F 五十音 や行 利用者名

発生場所 他利用者の居室

ヒヤリハット内容 受傷・衛生 ベッド間違ひ

当事者

発生状況

発生要因

事故に繋がるリスク

登録 クリア

- ### データー化される項目
- 件数(フロア別、月別)
 - 時間帯
 - 場所
 - 内容
 - 受傷部位
 - 当事者
 - 発生状況
 - 発生要因
 - 事故に繋がるリスク
 - 事故発生リスク
 - 予見・結果回避可能性
 - 利用者別発生リスク

利用者別リスクの計算式

$$\text{発生件数} + \text{発生件数} \div \text{利用日数} \times 365$$

要経過観察	×1	要経過観察	×5
捕獲すれば危険	×2	繰り返す可能性あり	×6
要注意	×3	要注意	×7
事故に繋がる危険大	×4	園内での対応が必要	×10
		対外事故	×20

単純な発生件数の累積ではなく、個人のリスクを計算式で数値化することで、比較検討しやすくなる。

以上で終了となります

ご清聴
ありがとうございました

